

たんだ新聞

たんだ新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26 4
我孫子市民図書館
04 7184 1110

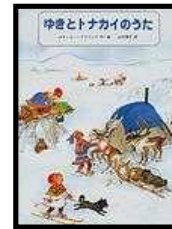


「ゆきだるま The Snowman」
(レイモンド・ブリッグス/作 評論社)

「ゆきのひのホネホネさん」
(にしむらあつこ/さく・え 福音館書店)



「ふゆめがっしょうだん」
(かがくのとも傑作集 富成忠夫/写真 茂木透/写真 長新太/文 福音館書店)



「ゆきとトナカイのうた」
(ボディル・ハグブリンク/作・絵 山内清子/訳 ポプラ社)

ふゆ しゅやく

冬の主演はだれ？

冬の主演しゅやくといえば、サンタクロースを思い浮かべる人も多いはず。しかし、図書館がおすすめる冬の本には、他にもたくさん主演たちがいるんですよ！

問 (北ぐにのどつぶつえんでは、雪のふたれた夜中に、ふしぎなあしあと？ができていた。このあしあとのもちぬしは？)



「雪の上のなぞのあしあと」
(かがくのとも傑作集 あべ弘士/さく 福音館書店 EMカ)

問 (大きくて、小さくて、中くさいで、とんがっていて、ひらぶたくて、ふくらんでいるもの。赤くて青くて、みどりいろで黒でもあるもの？ そんなふしぎなものを見つけ出せるめいたんていは？)



「ゆきの中のふしぎなできごと」(ぼくはめいたんてい)
(マージョリー・W・シャーマツト/ぶん マーク・シマント/え 光吉夏弥/やく 大日本図書)

問 (はちみつやのナオシさんは、つるばら村のふえふき山ではちみつを集めるじごとをしています。あるときナオシさんがミツバチたちを見まわっていると、ハチのすばしが一つぬすまれました。しかも、いく日かすると、もとどおりに返されていたのです。いったいだれが、何のためにすばしをもちついたのでしょ？)



「つるばら村のはちみつ屋さん」
(茂市久美子/作 柿田ゆかり/絵 講談社 1-モ)

* こたえは、4ページにあります。みんなが考えていたこたえと、いっしょだったかな？

アレクサンダとぜんまいねずみ

レオニノ作 好学社

アレクサンダはともだちがいなかったの、とてもかわいそうでした。ぜんまいでできたねずみを、ともだちにしたところが、おもしろかった。むらさきいろの石をつかったら、ぜんまいねずみがなまになつてよかった。

田辺果純(布佐分館)

しずかなおはなし

レーベテフノエ 福音館書店

わたしが、とくにおもしろいとおもったのは、はりねずみが、おおかみにみつかってしまつたところ。もう一つは、おおかみが、(てっぽうの音におどろいて)にげだすとき、にげあしがはやかたところ。す。

しまだゆう(布佐分館)

とびねこヘンリー

イングラハムノ絵 リブリオ出版

ねこのヘンリーが、一人でいきゆうに乗って、おられないなくなつてしまったのが、かわいそうだった。すぐおもしろいはなしでした。また、よんでみたい。す。

ももかかあり(布佐分館)



「とびねこヘンリー」文
メリック・カルホーン / 訳
イングラハムノ絵
猪熊葉子 / 訳
リブリオ出版



「このゆきだるまだ一れ？」
文子 / 作
山脇百合子 / 絵
福音館書店

このゆきだるまだ一れ?

山脇百合子ノ絵 福音館書店

くまさんとりすさんとうさぎさん、ぶたさんといぬさんが、ゆきだるまになつたところが、おもしろかった。

むらやまゆい(湖北台分館)

ももいろのきりん

中川李枝子ノサク 福音館書店

きりんのキリカが、とてもきれいで、じょうぶで、すぐ強そうでした。キリカが、くまをつきとばしたときは、とても強いなと思ひました。さいごに、るるこちゃん、もも色のクレヨンで家をかいたのが、上手だと思ひました。私も作つてみたい。

松下友紀(湖北台分館)

あさえとちいさいもつと

林 明子ノ絵 福音館書店

はしつたところがおもしろかった。あやちゃんが、ひだりへいったところが、おもしろかった。

(湖北台分館)

おやすみみみみ

ハッチンスノ作 偕成社

みみみみみみ、みんながうるさくて、ねむれなかつたところがかわいそうでした。

わたなべかよ(湖北台分館)

ひとまねこざるびょういんへい

H・A・レイノ絵 岩波書店

すぐおもしろくて、たのしかった。す。ちつちやいとときから、このほんがだいすきでした。とくに、ひとまねこざるの中では、この本がいちばんおもしろい。ジョージがふざけて、おこられたりするはなしがあつて、とてもおもしろかった。

いちのさわあさひ(アビスタ本館)

星の王子さま

サンテグジュペリノ作 岩波書店

大切なことがいつぱいかいてあります。一番印象に残つたことは、「かんじんなものは、目に見えない」とキツネがいつたこと。友だちや弟とケンカした時に、この本を読むと、なんだかホツとします。ぜひみなさんも、この本を読んでみてください。

かとうえれな(アビスタ本館)

みどりいろのたね

太田大八ノ絵 福音館書店

おいしそうなあめだまを、まめといっしょにうめていた。さいごは、メロンあめになつていて、おいしそうなえほんだった。

すずきりこ(アビスタ本館)



「みどりいろのたね」
作(絵)太田大八 / 作(絵)太田大八
福音館書店

この本だいすきは、お名前と受け取り館をのせています

このほんだいき

魔女の宅急便

角野栄子/作 福音館書店

現代っ子の魔女キキは、黒ねこのジジを連れて、

満月の夜にコリコの町へ、1人旅立ちました。コ

リコの町の人々は、はじめ、魔女のキキをいやがっ

て、キキはなかなかコリコの町になじめません。で

も、キキは宅急便を始めることで、町の人々と楽

しくくらせるようになりました。

シリーズとしてなんさつかでています。とつてもお

もしろかったです。

岩下美俣(湖北台分館)

エディのやさいばたけ

ガーランド/作 福音館書店

さいこのページで、じぶんたちでそだてて、作っ

たものが食べられて、いいなと思いました。おもし

るかったです。

やまざきもえ(湖北台分館)

どろんこ こぶた

ローベル/作 文化出版局

おもしろいよ。こぶたが、どろのなかにしずんで

いくところ。

ひらいあつし(湖北台分館)



「どろんここぶた」
ローベル/作 文化出版局
岸田衿子/訳



「はじめてのキャンプ」
(林明子/著 福音館書店)

はじめてのキャンプ

林明子/著 福音館書店

はじめてのキャンプだから、きんちょう感がたつぶ

り。とてもおもしろかった。

おか田じゅ里(アビスタ本館)

1年生になりました！

アルバーク/作 文化出版局

わたしは、1ねんせいになってドキドキしました。

1ねんせいになったので、うすむらさきのランドセル

をかってもらいました。(学校にいくと)いもうとた

ちとはなれるので、さみしかったけれど、まなみちゃ

んというおともだちができて、うれしかったです。た

のしい本です。

小林夕鶴(アビスタ本館)

ふたりはともだち

ローベル/作 文化出版局

かえるのふたりは、なかよしでいいな。すてきなと

もだちですね。だからとてもいいですね。

ほんとうにびっくりすることもありましたよ。たの

しかったです、おもしろかったです。なんかいいよんで

たまらないほどおもしろかったです。

おやまだゆづき(アビスタ本館)

=とよのかんの人のだいきな本=

「しめかざり」(たくさんのふしぎ傑作集) 森 須磨子/文・絵 福音館書店



年末になると、青々としたむぎわらに、^{たいたい} 橙の実や白い紙(御幣と
言うよ)をつけた飾り物が売られているのを、見たことがないかな？
玄関や神棚にかざるお家もあるでしょう。クリスマスリースかな？い
やいや違います。これは「しめかざり」と言います。しめかざりは、お
正月にみなさんのお家にいらっしゃる、^{かみさま} 神様をお迎えするために飾る
のです(「橙」は一族が「^{いちぞく} 代々」^{だいたい} 繁栄するようにという意味がこめら
れています)。しめかざりは地方によってちがう形もあります。太いも
の、長いもの、大きいもの、動物の形をしているもの、それぞれに、色々
な願いが込められて、つくられているんだよ。

~アビスタほんかん あまがやともこ~



「クリスマスにはおひげがいっぱい!?」
(ロジャー・デュボアザン/作
今江祥智・遠藤育枝/訳 B L 出版)

「クリスマスにはやっぱりサンタ」
(ビル・ピート/さく いまえよしとも/やく
ほるぶ出版)



「サンタクロースってほんとにいるの？」
(かがくのとも傑作集 てるおかいつこ/文
すぎうらはんも/絵 福音館書店)

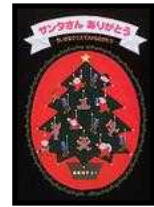


「サンタクロースからの手紙」
(J.R.R.トールキン/編 せたていじ/やく
評論社)

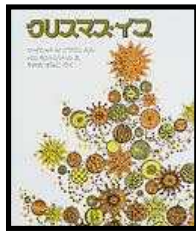


「クリスマス・クリスマス」
(たくさんのふしぎ傑作集
角野栄子/作 福音館書店)

「ババールとサンタクロース」
(ジャン・ド・ブリュノフ/さく
やがわすみこ/やく 評論社)



「サンタさんありがとう」
(長尾玲子/さく
福音館書店)



「クリスマス・イブ」
(マーガレット・W・ブラウン/ぶん
ベニ・モントレゾール/え
やがわすみこ/やく ほるぶ出版)



「クリスマスのねこヘンリー」
(メリー・カルホーン/文
エリック・イングラハム/絵
猪熊葉子/訳 リブリオ出版)



やっぱりサンタをわすれちゃいけない



「クリスマスソングブック1・2」
(児島なおみ/作 偕成社)



「雪の森のリサベット」
(アストリッド・リンドグリーン/作
イロン・ヴィークランド/絵
石井登志子/訳 徳間書店)



「サンタクロースと小人たち」
(マウリ・クナナス/作・絵
いながきはるみ/訳 偕成社)



「クリスマスイブのこと」
(クレメント・ムーア/作
アニタ・ローベル/絵
松井るり子/訳 セーラー出版)

1 ページのこたえ
問 あざらし 問 たんていネット
問 まほうつかい・サンタクロース・
ケーキ屋さん?
(は 本をよんでかんがえてみてね)



「ゆきやまたんけん」(松岡たつひで/さく 福音館書店 EMマ)

あまがえる旅行社は、社長のあまがえるさんが、人間のわすれていったペットボトルや紙ひこうきを改造して、水中や空中をたんけんする会社です。これまでも、てんとう虫やダンゴムシのおきゃくさんをのせて、ドジョウやザリガニのいる池の中や森の上をとんで、みんなを楽しませました。さて今回は、ペットボトルを大改造した乗り物で、ゆきの山へ、たんけんに行きます。どんな発見があるかな？

(アビスタほんかん いわいさとし)

「あまがえるりょうしゃ」
「もりのくわちゅうさんぼ」
もよろしくね。

= へんしゅう*こうき = おひさまの光をあびに、外へでてみませんか？ほかのきせつより、空気がすんでいて、まわりのけしきが、いつもより、ほんのちょっときれいに見えるかもしれませんよ。